

- the Royal College of Surgeons of Thailand. 2007/7, Pattaya,, Thailand.
- 17) Nakao A, et al. Pancreatic head resection with segmental duodenectomy (PHRSD) preserving the gastro duodenal and anterior inferior pancreaticoduodenal arteries for intraductal papillary mucinous neoplasms (IPMN) of the pancreatic head. International Surgical Week 2007. 2007/8, Montreal, Canada.
  - 18) Nakao A. Pancreatic head resection with segmental duodenectomy. 17th World Congress of IASGO. 2007/9, Bucharest, Romania.
  - 19) Nakao A. Techniques of reconstruction after duodenopancreatectomy. 17th World Congress of IASGO. 2007/9, Bucharest,, Romania..
  - 20) Nakao A. Recent topics in pancreatic cancer surgery. Asian Pacific Digestive Week 2007. 2007/10, Kobe, Japan..
  - 21) Takeda S, Nakao A. Organ preserving pancreatectomy: pancreatic head resection with segmental duodenectomy (PHRSD) and middle pancreatectomy (MP) for IPMN of the pancreas. The 3rd Kore-Japan Single Topic Symposium. 2007/10, Seoul, Korea..
  - 22) Nakao A.. Isolated pancreatoduodenectomy combined with portal vein resection for pancreatic head cancer. The 3rd Kore-Japan Single Topic Symposium. 2007/10, Seoul, Korea.
  - 23) Tanabe R, Tanaka M, et al. Antecolic duodenojejunostomy improves fasting gastric motility after pylorus-preserving pancreatoduodenectomy: manometric evidence of reduced early gastric stasis. 3rd Annual Academic Surgical Congress, 2008/2, Huntington Beach, USA.
  - 24) Sadakari Y, Tanaka M, et al. Timing of surgery in patients with IPMN under follow up:-Does change in diameter of cystic lesions suggest malignancy-. the 3rd Annual Academic Surgical Congress, 2008/2, Huntington Beach, USA.
  - 25) Kamohara H, Baba H ,et al. Silvestat suppresses cancer progression in human pancreatic carcinoma cells. AACR-NCI-EORTC International conference, Molecular Targets and Cancer Therapeutics in October. 2007/10, サンフランシスコ
  - 26) Ueno H, et al. A multicenter phase II study of gemcitabine and S-1 combination therapy (GS therapy) in patients with metastatic pancreatic cancer. ASCO 2007, 2007/6, Chicago.
  - 27) Ueno H, et al. Association of genetic polymorphisms with survival in Japanese pancreatic cancer patients treated with gemcitabine. ECCO 2007, General poster session, 9/24/2007, 2007/9, Barcelona.
  - 28) Miyazaki M. Combined vascular resection for pancreatic cancer: does it have clinical benefits for advanced pancreas cancer? 17th World congress of the international association of surgeons, gastroenterologists and Oncologists(I.A.S.G.O), 2007/9, Bucharest, Romania.
  - 29) Miyazaki M. New proposal in the diagnosis of gastroentero-pancreatic neuroendocrine tumors. 17th World congress of the international association of surgeons , gastroenterologists and Oncologists I.A.S.G.O), 2007/9, Bucharest, Romania
- 国内学会
- 1) 江川新一,中尾昭公,羽鳥 隆,田中雅夫,他. 膵癌登録から得られるもの. 第63回日本消化器外科学会定期学術集会, 2008/7, 札幌.
  - 2) 江川新一,中尾昭公,羽鳥 隆,田中雅夫,他. 膵癌登録からみた早期膵癌の診断と治療 膵癌登録からみた早期膵癌の診断と治療.. 第13回日本外科病理学会, 2008/9, 東京.
  - 3) 江川新一, 他. WT1 expression in pancreatic cancer. 第67回日本癌学会学術総会, 2008/10, 名古屋.
  - 4) 宮崎勝. 肝門部胆管癌に対する外

- 科的治療戦略 . 第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会, 2008/5, 山形.
- 5) 羽鳥 隆, 他. 膵癌切除後の補助化学療法の治療成績. 第50回日本消化器病学会大会, 2008/10, 東京.
  - 6) 羽鳥 隆, 他. 膵体尾部癌に対する適切な術式選択は? 第39回日本膵臓学会大会, 2008/7, 横浜.
  - 7) 羽鳥 隆, 他. 膵頭部癌に対する膵頭十二指腸切除のあり方. 第63回日本消化器外科学会定期学術集会, 2008/7, 札幌.
  - 8) 羽鳥 隆, 他. 膵癌切除後の補助療法に関する検討. 第94回日本消化器病学会総会, 2008/5, 福岡.
  - 9) 齋浦明夫, 他. 肝内胆管癌に対する切除成績 リンパ節転移は絶望的か? 第70回日本臨床外科学会, 2008/11, 東京.
  - 10) 中尾昭公. 膵臓外科と門脈切除. 第39回日本膵臓学会大会. 2008/7, 横浜.
  - 11) 中尾昭公. 消化器癌の診断と治療-最近の動向 膵. 第50回日本消化器病学会大会. 2008/10, 東京.
  - 12) 土井隆一郎, 他. 膵癌検出におけるFDG-PETの有用性. 第108回日本外科学会定期学術集会, 2008/5, 長崎.
  - 13) 土井隆一郎, 他. 土井隆一郎, 増井俊彦, 上和広, 小川晃平, 川口義弥, 多田正晴, 新田隆士, 安近健太郎, 江川裕人, 上本伸二. MultiDetector-row CTを用いた3D血管系画像による膵切除手術の術前評価. 第20回日本肝胆膵外科学会, 2008/5, 山形.
  - 14) 土井隆一郎. 膵癌領域における臨床研究の動向: 質の高いエビデンスの構築に向けて. 第63回日本消化器外科学会総会, 2008/7, 札幌.
  - 15) 土井隆一郎, 他. 膵切除術後の重症合併症の治療とその発生防止対策. 第63回日本消化器外科学会総会, 2008/7, 札幌.
  - 16) 森根裕二, 島田光生, 他. 高齢者(75歳以上)に対する膵頭十二指腸切除術の検討. 第94回日本消化器病学会総会, 2008/5, 福岡.
  - 17) 高森 啓史, 馬場秀夫, 他. 膵癌に対するneoadjuvant chemotherapyの有用性. 第63回日本消化器外科学会総会, 2008/7, 札幌.
  - 18) 高森哲史, 馬場秀夫, 他. 膵癌の対する術前化学療法の意義. 第46回日本癌治療学会総会, 2008/10, 愛知.
  - 19) 小菅智男, 他. 膵癌切除症例に対する補助化学療法の有用性を評価する臨床試験の問題点. 第107回日本外科学科, 2007/4, 大阪.
  - 20) 小菅智男, 山本順司, 他. 膵癌切除症例に対する補助化学療法の有用性を評価する臨床試験の問題点. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
  - 21) 佐野力, 小菅智男, 他. 肝門部胆管癌に対する肝葉切除-治療時期による比較検討-「胆肝癌(手術療法)」。第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
  - 22) 阪本良弘, 小菅智男, 他. 切除断端に注目した中下部胆管癌55例の切除成績 「胆(中下部胆管癌その他)」。第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
  - 23) 小菅智男, 上野秀樹, 他. (特別報告)膵癌に対するゲムシタピンを用いた補助化学療法の有用性についての多施設共同無作為比較試験による評価. 第19回肝胆膵外科学会, 2007/6, 横浜.
  - 24) 吉川大太郎, 小菅智男, 他. 肝内胆管癌に対する分子治療標的候補(E GFR・VEGF)についての検討. 第43回日本肝癌研究会, 2007/6, 東京.
  - 25) 小菅智男. 特別企画 膵癌診療ガイドラインをめぐって 外科療法: 補助化学療法. 第38回日本膵臓学会, 2007/6, 福岡.
  - 26) 江崎稔, 小菅智男, 他. 80歳以上高齢者における肝胆膵外科手術適応の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007/7, 東京.
  - 27) 佐野力, 小菅智男, 他. 狭義の肝門部胆管癌と肝門型肝内胆管癌の比較検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007/7, 東京.
  - 28) 梶原崇弘, 小菅智男, 他. 主膵管拡

- 張を伴う非機能性膵内分泌腫瘍の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007/7, 東京.
- 29) 小菅智男, 他. 手術を主体とした膵癌の治療(Pancreatic Cancer.Towards the Improvement of Prognosis through Basic and Clinical Investigations Surgical treatment for pancreatic cancer ). 第66回日本癌学会学術総会, 2007/10, 横浜.
- 30) 小菅智男, 他. 膵癌に対して行うべき集学的治療 ゲムシタピンを用いた補助化学療法. 第45回日本癌治療学会総会, 2007/10, 京都.
- 31) 阪本良弘, 小菅智男, 他. 膵頭十二指腸切除における術後合併症とその対策 膵頭十二指腸切除におけるRoux-en-Y器械吻合の導入. 第68回日本臨床外科学会, 2007/7, 横浜.
- 32) 江川新一, 他. 全国膵癌登録データからみたJPS第5版取扱い規約とUICC第6版取扱い規約の比較. 第107回外科学会, 2007/4, 大阪.
- 33) 江川新一. 膵癌治療における化学療法の役割. 奈良膵癌研究会, 2007/6, 奈良.
- 34) 江川新一, 他. Early detection of pancreatic cancer; From national pancreatic cancer registry. 第66回日本癌学会, 2007/9, 横浜.
- 35) 羽鳥隆, 他.膵体尾部に上皮性病変を伴った膵頭部癌に対する胃・脾温存膵全摘術 第108回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 36) 羽鳥隆, 他.膵頭十二指腸切除術ができるようになるまでの教育の実際 第19回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2007/6, 横浜.
- 37) 福田 晃, 羽鳥隆, 他.膵体尾部切除術後遠隔時の耐糖能に関する検討. : 第19回日本肝胆膵外科学会学術集会, 2007/6, 横浜.
- 38) 藤田 泉, 羽鳥隆, 他. 膵全摘後の術後管理に関する検討. 第24回日本胆膵生理機能研究会.2007/6, 金沢.
- 39) 福田 晃, 羽鳥隆, 他. 慢性膵炎の長期予後に関する検討ー膵癌発生を中心にー. 第38回日本膵臓学会大会. 2007/6, 福岡.
- 40) 杉木孝章, 羽鳥隆, 他.膵病変に対する二期的膵全摘症例の検. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 41) 高山敬子, 羽鳥隆, 他.当院における膵病変に対するEUS-FNAの現況, 2007.6. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 42) 羽鳥隆, 他. 膵頭十二指腸切除における門脈・上腸間膜静脈合併切除再建の工夫:. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会. 2007/7, 東京.
- 43) 福田 晃, 羽鳥隆, 他.全胃幽門輪温存膵頭十二指腸切除後胃排泄遅延におけるストレート法の有用性の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会. 2007/7, 東京.
- 44) 杉木孝章, 羽鳥隆, 他.第34回日本膵切研究会.膵空腸吻合no stent法の手技と成績, 2007/8, 東京.
- 45) 羽鳥隆, 他.膵IPMNに対する診療戦略. 第49回日本消化器病学会大会, 2007/10, 神戸.
- 46) 羽鳥隆, 他.膵癌に対する拡大手術の意義は? 第45回日本癌治療学会総会, 2007/10, 京都.
- 47) 羽鳥隆, 他.幽門輪温存膵頭十二指腸切除 (PPPD) における縫合不全ゼロをめざした再建法. 第69回日本臨床外科学会総会, 2007/12, 横浜.
- 48) 林賢, 山本順司, 他. 肝動注後肝切除における安全性の検討 肝容積変化に着目して. 第69回日本臨床外科学会総会, 2007/11, 広島.
- 49) 斎浦明夫, 山本順司, 他. LigaSure, Dissecting Sealerを用いた肝切除術 第69回日本臨床外科学会総会, 2007/11, 広島.
- 50) 山本順司, 他. 膵体尾部癌の外科治療. 第107回日本外科学会総会, 2007/3, 大阪.
- 51) 山田 豪, 中尾昭公, 他.膵癌における腹腔洗浄細胞診(CY)の臨床的意義の検討. 第107回日本外科学会定期学術集会. 2007/4, 大阪.
- 52) 野本周嗣, 中尾昭公, 他. 膵癌におけるRUNX3遺伝子のメチル化と予後の予測. 第107回日本外科学会定期学術集会.2007/4, 大阪.

- 53) 竹田 伸, 中尾昭公, 他. 進行膵癌におけるTS, DPD, OPRT発現と5FU系抗癌剤補助化学療法の効果予測. 第107回日本外科学会定期学術集会. 2007/4, 大阪.
- 54) 大谷 聡, 中尾昭公, 他. 膵癌切除不能例に対する塩酸ゲムシタピンを用いた化学療法の検討. 第107回日本外科学会定期学術集会. 2007/4, 大阪.
- 55) 金住直人, 中尾昭公, 他. 膵体部分枝型IPMNに対する膵中央切除術と膵胃粘膜吻合再建. 第19回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2007/6, 横浜.
- 56) 金住直人, 中尾昭公, 他. 教室における悪性膵内分泌腫瘍の治療経験. 第38回日本膵臓学会大会. 2007/6, 福岡.
- 57) 竹田 伸, 中尾昭公, 他. 癌におけるgemcitabine感受性遺伝子の検討. 第38回日本膵臓学会大会. 2007/6, 福岡.
- 58) 中尾昭公. 消化器外科手術の現在と未来-膵臓外科. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会. 2007/7, 東京.
- 59) 野村尚弘, 中尾昭公, 他. 非機能性膵内分泌腫瘍症例の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会. 2007/7, 東京.
- 60) 竹田 伸, 中尾昭公, 他. 当科における膵癌術後補助化学療法の現状. 第34回日本膵切研究会. 2007/8, 東京.
- 61) 野本周嗣, 中尾昭公, 他. 膵癌におけるRUNX3遺伝子のメチル化と予後への影響. 第65回日本癌学会学術総会. 2007/10, 横浜.
- 62) 竹田 伸, 中尾昭公, 他. 膵癌治療の長期生存をめざして. 第69回日本臨床外科学会総会. 2007/11, 横浜.
- 63) 金住直人, 中尾昭公, 他. 膵管内乳頭粘液生腫瘍に対する縮小手術としての膵頭十二指腸第II部切除術と膵中央切除術. 第69回日本臨床外科学会総会. 2007/11, 横浜.
- 64) 加藤公一, 中尾昭公, 他. 当教室における膵扁平上皮癌の6切除例. 第69回日本臨床外科学会総会. 2007/11, 横浜.
- 65) 中尾昭公. 膵癌ガイドラインの検証-欧米との比較-. 2007.10.24. 第45回日本癌治療学会総会. 2007/10, 京都.
- 66) 竹田 伸, 中尾昭公. 膵癌の治療向上に向けて-5FU系とGEMの個別化の試み-. 第45回日本癌治療学会総会. 2007/10, 京都.
- 67) 土井隆一郎. 膵癌に対する外科治療をアームとする臨床試験の問題点-外科治療と放射線化学療法の無作為化比較試験の最終解析をふまえて-. 第107回日本外科学科, 2007/4, 大阪.
- 68) 平良薫, 土井隆一郎, 他. 膵頭十二指腸切除の周術期栄養評価. 第107回日本外科学科, 2007/4, 大阪.
- 69) 上和広, 土井隆一郎, 他. 当科における膵頭十二指腸切除術後合併症の解析ならびにクリニカルパス導入. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 70) 木田睦士, 土井隆一郎, 他. mTOR阻害剤RAD001を用いた膵癌治療戦略. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 71) 森友彦, 土井隆一郎, 他. 膵癌細胞のTRAIL感受性抵抗因子を標的とした治療戦略. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 72) 増井俊彦, 土井隆一郎, 他. 浸潤・転移制御機序を標的とした膵癌転移抑制分子の開発. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 73) 坂元克孝, 土井隆一郎, 他. 胆管切除を要する長時間手術における術中持続胆道減圧の意義. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 74) 上和広, 土井隆一郎, 他. 膵癌術後補助化学療法剤としてのTS-1の安全性の検討. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 75) 多田正晴, 土井隆一郎, 他. 胃切除後膵切除術の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術集会, 2007/7, 東京.
- 76) 武田裕, 門田守人, 他. 進行膵癌克服への治療戦略(進行膵癌に対するGemcitabineと加速多分割照射法を

- 用いた同時放射線化学療法). 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 77) 武田裕, 門田守人, 他. 局所進行切除不能膵癌患者におけるGemcitabineと加速多分割照射法を用いた同時放射線化学療法第I/II相臨床試験. 第19回日本肝胆膵外科学会, 2007/7, 横浜.
- 78) 武田裕, 門田守人, 他. StageIVa局所進行膵癌に対する治療戦略. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007/7, 東京.
- 79) 三宅講太郎, 島田光生, 他. 膵癌での低酸素環境下におけるヒストン脱アセチル化とその分子機構の解明. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/3.
- 80) 杉本光司, 島田光生, 他. 低酸素環境を標的とした放射線増感剤TX-1877誘導体による膵癌に対する新たな治療戦略. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/3, 大阪.
- 81) 荒川悠佑, 島田光生, 他. Role of positron emission tomography 18fluorodeoxyglucose in pancreatic tumors. 66th Annual Meeting of the Japanese Cancer Association (JCA) 日本癌学会学術総会 2007年10月3-5日, 2007/10.
- 82) 金村普史, 島田光生, 他. 膵頭十二指腸切除術に術後合併症と予防対策. 第69回日本臨床外科学会, 2007/11
- 83) 江川新一, 田中雅夫, 他. 全国膵癌登録データからみたJPS第5版取扱い規約とUICC第6版取扱い規約の比較. 第107回外科学会, 2007/4, 大阪
- 84) 山口幸二, 田中雅夫, 他. 膵癌術後補助化学療法 (ジェムザール) の有用性. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 85) 三好圭, 田中雅夫, 他. 膵癌におけるSPARC発現消失とその生物学的意義. 日本外科学会 第107回定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 86) 鬼丸学, 田中雅夫, 他. ヒト膵癌細胞株におけるゲムシタピン投与によるhTERT発現増強. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 87) 森山大樹, 田中雅夫, 他. ヒト膵癌細胞株におけるマイクロRNAの過剰発現. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 88) 山崎章生, 田中雅夫, 他. 片野光男. 炎症と癌: 癌組織浸潤単核球による膵癌細胞のHedgehog signal活性化と増殖促進. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 89) 永井俊太郎, 田中雅夫, 他. 膵癌細胞の組織浸潤におけるHedgehogシグナル系の関与. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 90) 水元一博, 田中雅夫, 他. 膵癌の個別化治療を目指したパラフィン包埋組織のRNA定量解析~膵癌術後短期死亡群におけるS100A4の過剰発現. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 91) 余俊, 田中雅夫, 他. 膵癌におけるLMO4の過剰発現と発現抑制による膵癌細胞増殖促進効果. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 92) 大橋生嗣, 田中雅夫, 他. ヒト膵癌細胞株ならびにゲムシタピン耐性株におけるゲムシタピン代謝関連遺伝子の発現. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 93) 大内田研宙, 田中雅夫, 他. 膵癌細胞における網羅的micro RNA発現解析. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 94) 山田大輔, 田中雅夫, 他. 膵癌におけるADAM9およびADAM15 mRNAの過剰発現. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪
- 95) 横畑和紀, 田中雅夫, 他. 糖尿病と膵癌. 第37回九州膵研究会, 2007/6, 福岡
- 96) 山口幸二, 田中雅夫, 他. 早期膵癌の診断と外科治療の問題点. 第37回九州膵研究会, 2007/6, 福岡.
- 97) 森山大樹, 田中雅夫, 他. ヒト膵癌細胞におけるマイクロRNA・miR-21の発現解析と増殖・浸潤促進作用. 第38回日本膵臓学会, 2007/6, 福岡

- 98) 水元一博, 田中雅夫, 他. 膵癌放射線治療効果の基礎的検討と臨床応用へのヒント. 第38回日本膵臓学会, 2007/6, 福岡
- 99) 山口幸二, 田中雅夫, 他. 小膵癌(pT<sub>S1</sub>)よりみた膵癌初期病変としての膵管拡張. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡
- 100) 大内田研宙, 田中雅夫, 他. 膵液遺伝子診断による術前膵癌診断の可能性と問題点. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 101) 中村雅史, 田中雅夫, 他. 胎生期形態形成シグナル再活性化による膵癌の発生・進展とその制御法開発. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 102) 藤田逸人, 田中雅夫, 他. 線維芽細胞による膵癌細胞の放射線抵抗性誘導効果英文演題: Pancreatic cancer-derived fibroblasts promote radioresistance of pancreatic cancer cells. 第66回 日本癌学会学術総会, 2007/10, 横浜.
- 103) 森山大樹, 田中雅夫, 他. 膵癌細胞株におけるCD133発現は、膵癌の幹細胞マーカーとなるか. 第66回 日本癌学会学術集会, 2007/10, 横浜.
- 104) 永井俊太郎, 田中雅夫, 他. 膵癌細胞の浸潤能におけるHedgehog系の関与. 第20回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007/10, 札幌.
- 105) 山崎章生, 田中雅夫, 他. 膵癌細胞の増殖に及ぼす癌組織浸潤単核球の役割: Hedgehog signal活性化. 第20回日本バイオセラピー学会学術集会総会, 2007/10, 札幌.
- 106) 蔵重淳二, 馬場秀夫, 他. 膵MCNの臨床病理学的検討. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 107) 金光敬一郎, 馬場秀夫, 他. 膵癌における微小血管密度の臨床病理学的解析. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 108) 保坂征司, 馬場秀夫, 他. 胆管癌における術中凍結病理診断でdysplasiaと診断された胆管断端の対処方についての検討. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 109) 大熊利之, 馬場秀夫, 他. 十二指腸乳頭部癌切除例の臨床病理学的因子から見た治療戦略. 第107回日本外科学会, 2007/4, 大阪.
- 110) 中原 修, 馬場秀夫, 他. 悪性膵島細胞腫瘍の治療方針. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 111) 水流添周, 馬場秀夫, 他. 進行膵癌の肝転移同定における血管造影下CT検査の有用性. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 112) 広田昌彦, 馬場秀夫, 他. 膵頭十二指腸切除術における大動脈遮断鉗子を用いたretropancreatic tissueの処理. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 113) 高森啓史, 馬場秀夫, 他. 膵癌に対する補助療法の有用性. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 114) 市原敦史, 馬場秀夫, 他. 膵癌細胞株における5-FU、CDHP、Radiation併用による抗腫瘍効果の検討. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 115) 中原修, 馬場秀夫, 他. 2007年7月18~20日 StageIVa膵管癌における予後規定因子の検討. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 116) 蒲原英伸, 馬場秀夫, 他. シベレスタットによる膵癌細胞の増殖・転移活性の制御機構の解析. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 117) 阿部真也, 馬場秀夫, 他. 術前内視鏡的経乳頭的膵管ステント留置による膵局所切除術の検討. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 118) 水流添周, 馬場秀夫, 他. StageIVa膵癌の治療戦略. 第62回日本消化器外科学会, 2007/7, 東京.
- 119) 広田昌彦, 馬場秀夫, 他. 膵頭十二指腸切除術におけるretroperitoneal margin処理の工夫. 第45回日本癌治療学会, 2007/10, 京都.
- 120) 高森啓史, 馬場秀夫, 他. 切除適応膵癌に対するNeoadjuvant Chemotherapy前後のCA 19-9値推移の意義. 第45回日本癌治療学会, 2007/10, 京都.
- 121) 倉本正文, 馬場秀夫, 他. 膵癌に対する予後向上のための新たな手術補

- 助療法のstrategy. 第69回日本臨床外科学会, 2007/11, 神奈川.
- 122) 上野秀樹, 他. 遠隔転移を有する膵癌に対するゲムシタピン+S-1併用療法の多施設共同第2相試験. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 123) 上野秀樹, 他. 膵癌に対する遺伝子治療情報に基づいたオーダーメイド治療の可能性. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 124) 上野秀樹, 他. 進行膵癌の予後改善を目指した化学療法の戦略: S-1に関する臨床試験を中心に. JDDW 2007, パネルディスカッション, 2007/10, 神戸.
- 125) 上野秀樹, 他. 進行膵癌に対するS-1を用いた化学療法の治療成績. 第45回日本癌治療学会総会, 2007/10, 京都.
- 126) 旭吉雅秀, 千々岩一男, 他. 膵頭十二指腸切除術後の腹腔内出血についての検討. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 127) 今村直哉, 千々岩一男, 他. 幽門輪温存膵頭十二指腸切除術後の再建経路に関する胃排出能の検討. 第107回日本外科学会定期学術集会, 2007/4, 大阪.
- 128) 大内田次郎, 千々岩一男, 他. 切除・非切除膵癌に対する補助療法の有用性. 第38回日本膵臓学会大会, 2007/6, 福岡.
- 129) 大内田次郎, 千々岩一男, 他. 切除・非切除膵癌に対する補助療法の検討. 第62回日本消化器外科学会定期学術総会, 2007/7, 東京.
- 130) 大内田次郎, 千々岩一男, 他. 膵頭十二指腸切除における膵空腸吻合の工夫. 第34回日本膵切研究会, 2007/8, 東京.
- 131) 旭吉雅秀, 千々岩一男, 他. 膵頭領域癌に対する幽門輪温存膵頭十二指腸切除例. 第6回宮崎消化器癌治療研究会, 2008/2, 宮崎.
- 132) 大内田次郎, 千々岩一男, 他. 切除・非切除膵癌に対する補助療法の有用性. 第45回日本癌治療学会総会, 2007/10, 京都.
- 133) 甲斐真弘, 千々岩一男, 他. サージカルフォーラム51: 胆・膵癌の治療戦略. 進行胆嚢癌の予後向上を目指した手術と補助化学療法. 第69回日本臨床外科学会総会, 2007/11, 横浜.
- 134) 旭吉雅秀, 千々岩一男, 他. 斐真弘. 膵頭領域癌に対する幽門輪温存膵頭十二指腸切除例. 第6回宮崎消化器癌治療研究会, 2008/2, 宮崎.
- G. 知的財産権の出願・登録状況
1. 特許取得  
なし
  2. 実用新案登録  
なし

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Deguchi Y, <u>Kosuge T</u> , et al.	Pancreaticojejunostomy with invagination of the punched pancreatic remnant after medial pancreatectomy and enucleation for multiple metastases of renal cell carcinoma: report of a case.	Surg Today	39	1086-1090	2009
Nara S, <u>Kosuge T</u> , et al.	Clinical significance of frozen section analysis during resection of intraductal papillary mucinous neoplasm: should a positive pancreatic margin for adenoma or borderline lesion be resected additionally?	J Am Coll Surg.	209	614-621	2009
Nara S, <u>Kosuge T</u> , et al.	Preoperative evaluation of invasive and noninvasive intraductal papillary-mucinous neoplasms of the pancreas: clinical, radiological, and pathological analysis of 123 cases.	Pancreas	38	8-16	2009
Yamamoto Y, <u>Kosuge T</u> , et al.	Reconstruction of the portal and hepatic veins using venous grafts customized from the bilateral gonadal veins.	Langenbecks Arch Surg	394	1115-1121	2009
Hibi T, <u>Kosuge T</u> , et al.	Synuclein-gamma is closely involved in perineural invasion and distant metastasis in mouse models and is a novel prognostic factor in pancreatic cancer.	Clin Cancer Res	15	2864-2871	2009
Shimada K, <u>Kosuge T</u> , et al.	Slow growth of small pancreatic carcinoma with a 20-month follow-up.	Pancreas	38	346-349	2009
Sakamoto Y, <u>Kosuge T</u> , et al.	Roux-en-Y reconstruction using staplers during pancreaticoduodenectomy: results of prospective preliminary study.	Surg Today	39	32-37	2009
Yamamoto K, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Significance of alpha-fetoprotein and des-gamma-carboxy prothrombin in patients with hepatocellular carcinoma undergoing hepatectomy.	Annals of Surgical Oncology	16	2795-2804	2009
<u>Ueno H</u> , <u>Kosuge T</u> , et al.	A randomised phase III trial comparing gemcitabine with surgery-only in patients with resected pancreatic cancer: Japanese Study Group of Adjuvant Therapy for Pancreatic Cancer.	Br J Cancer	101	908-915	2009
<u>Ueno H</u> , et al.	Homozygous CDA*3 is a major cause of life-threatening toxicities in gemcitabine-treated Japanese cancer patients.	Br J Cancer	100	870-873	2009
Morizane C, <u>Ueno H</u> , et al.	A phase II study of S-1 on gemcitabine-refractory metastatic pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol	63	313-319	2009
Hashimoto K, <u>Ueno H</u> , et al.	Do recurrent and metastatic pancreatic cancer patients have the same outcomes with gemcitabine treatment?	Oncology	77	217-223	2009
Seki Y, <u>Ueno H</u> , et al.	Four cases of pancreatic acinar cell carcinoma treated with gemcitabine or S-1 as a single agent.	Jpn J Clin Oncol	39	751-755	2009



研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Soeda A, <u>Ueno H</u> , et al.	Regular dose of gemcitabine induces an increase in CD14+ monocytes and CD11c+ dendritic cells in patients with advanced pancreatic cancer.	Jpn J Clin Oncol	39	797-806	2009
Sato Y, <u>Ueno H</u> , et al.	A new statistical screening approach for finding pharmacokinetics-related genes in genome-wide studies.	Pharmacogenomics J	9	137-146	2009
Matsubara J, <u>Ueno H</u> , et al.	Identification of a predictive biomarker for hematologic toxicities of gemcitabine.	J Clin Oncol	27	2261-2268	2009
Iida A, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Does Prolonged Biliary Obstructive Jaundice Sensitize the Liver to Endotoxemia?	Shock	31	397-403	2009
Kawamoto J, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Preoperative GATA3 mRNA Expression in Peripheral Blood Mononuclear Cells is Up-Regulated in Patients With Postoperative Infection Following Hepatobiliary Pancreatic Surgery.	J Surg Res	152	118-127	2009
Hirono S, <u>Saiura A</u> , et al.	Molecular markers associated with lymph node metastasis in pancreatic ductal adenocarcinoma by genome-wide expression profiling. [Epub ahead of print].	Cancer Sci			2009
Koga R, <u>Saiura A</u> , et al.	Clamp-crushing pancreas transection in pancreatoduodenectomy.	Hepatogastroenterology	56	89-93	2009
Su Z, <u>Saiura A</u> , et al.	Factors influencing infectious complications after pancreatoduodenectomy. [Epub ahead of print].	J Hepatobiliary Pancreat Surg			2009
<u>Sugiyama M</u> , et al.	Secure placement of a peripancreatic drain after a distal pancreatectomy.	Am J Surg	199	178-182	2010
Shikano T, <u>Nakao A</u> , et al.	Middle pancreatectomy: Safety and long-term results.	Surgery	147	21-29	2010
Kato K, <u>Nakao A</u> , et al.	Prognostic factors for survival after extended pancreatectomy for pancreatic head cancer: influence of resection margin status on survival.	Pancreas	38	605-612	2009
<u>Nakao A</u> , et al.	Pancreatic head resection with segmental duodenectomy for pancreatic neoplasms. [Epub ahead of print].	J Hepatobiliary Pancreat Surg			2009
Kanai, M., <u>Doi, R.</u> , et al.	A history of smoking is inversely correlated with the incidence of gemcitabine-induced neutropenia.	Ann Oncol	20	1397-1401	2009
Nagai, K., <u>Doi, R.</u> , et al.	Prognostic value of metastin expression in human pancreatic cancer.	J Exp Clin Cancer Res	28	9	2009

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Nagai, K., <u>Doi, R.</u> , et al.	Single-institution validation of the international consensus guidelines for treatment of branch duct intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	353-358	2009
Morine Y, <u>Shimada M.</u> , et al.	Usefulness of gemcitabine combined with 5-fluorouracil and cisplatin (GFP) in patients for advanced biliary tract carcinoma.	Hepatogastroenterology	56	307-312	2009
Fujita H, <u>Tanaka M.</u> , et al.	Tumor-stromal interactions with direct cell contacts enhance proliferation of human pancreatic carcinoma cells.	Cancer Sci	100	2309-2317	2009
Nakamura M, <u>Tanaka M.</u> , et al.	Long-term Outcome of Immunotherapy for Patients with Refractory Pancreatic Cancer.	Anticancer Res	29	831-836	2009
Nakata K, <u>Tanaka M.</u> , et al.	LMO2 is a novel predictive marker for a better prognosis in pancreatic cancer.	Neoplasia	11	712-719	2009
Hirota M, <u>Baba H.</u> , et al.	Spleen and gastrosplenic ligament preserving distal pancreatectomy under a minimum incision approach assisted by laparoscopy.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	792-795	2009
Harao M, <u>Baba H.</u> , et al.	Whole stomach and spleen preserving total pancreatectomy : a new surgical technique for pancreatic cancer.	Hepatogastroenterology	56	1549-1551	2009
Ozaki N, <u>Baba H.</u> , et al.	Serine protease inhibitor kazal type I promotes proliferation of pancreatic cancer cells through the epidermal growth factor receptor.	Mol Cancer Res	7	1572-1580	2009
<u>Chijiwa, K.</u> , et al.	Prospective Randomized Controlled Study of Gastric Emptying Assessed by <sup>13</sup> C-Acetate Breath Test After Pylorus-Preserving Pancreaticoduodenectomy. Comparison between Antecolic and Vertical Retrocolic Duodenojejunostomy.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	49-55	2009
Akita H, <u>Nakamori S.</u> , et al.	Significance of RRM1 and ERCC1 expression in resectable pancreatic adenocarcinoma.	Oncogene	28	2903-2909	2009
Hirono S, <u>Yamamoto J.</u> , et al.	Molecular markers associated with lymph node metastasis in pancreatic ductal adenocarcinoma by genome-wide expression profiling.	Cancer Sci	101	259-266	2010
Tsujimoto H, <u>Yamamoto J.</u> , et al.	Minimally invasive surgery for resection of duodenal carcinoid tumors: endoscopic full-thickness resection under laparoscopic observation.	Surg Endosc	24	471-475	2010
Ueno H, <u>Kosuge T.</u>	Adjuvant treatments for resectable pancreatic cancer.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	468-472	2008
Sano T, <u>Kosuge T.</u> , et al.	Reconstruction of hepatic venous tributaries using a Y-shaped left portal vein graft harvested from a resected left liver.	Hepatogastroenterology	55	228-230	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Sano T, <u>Kosuge T</u> , et al.	Hepatobiliary resection with inferior vena cava resection and reconstruction using an autologous patch graft for intrahepatic cholangiocarcinoma.	Langenbecks Arch Surg	393	599-603	2008
Daitarou Yoshikawa, <u>Kosuge T</u> , et al.	Clinicopathological and prognostic significance of EGFR, VEGF, and HER2 expression in cholangiocarcinoma.	Br J Cancer.	98	418-425	2008
Ohnami S, <u>Kosuge T</u> , et al.	His595Tyr polymorphism in the methionine synthase reductase (MTRR) gene is associated with pancreatic cancer risk.	Gastroenterology	135	477-488	2008
Nara S, <u>Kosuge T</u> , et al.	Minimally invasive intraductal papillary-mucinous carcinoma of the pancreas: clinicopathologic study of 104 intraductal papillary-mucinous neoplasms.	Am J Surg Pathol	32	243-255	2008
Sano T, <u>Kosuge T</u> , et al.	Prognosis of perihilar cholangiocarcinoma: hilar bile duct cancer versus intrahepatic cholangiocarcinoma involving the hepatic hilus.	Ann Surg Oncol	15	590-599	2008
Kikuchi S, <u>Kosuge T</u> , et al.	Expression and gene amplification of actinin-4 in invasive ductal carcinoma of the pancreas.	Clin Cancer Res	14	5348-5356	2008
Kanno A, <u>Egawa S</u> , et al.	Periostin, secreted from stromal cells, has biphasic effect on cell migration and correlates with the epithelial to mesenchymal transition of human pancreatic cancer cells.	Int J Cancer.	122	2707-2718	2008
Satoh K, <u>Egawa S</u> , et al.	Up-regulation of MSX2 enhances the malignant phenotype and is associated with Twist 1 expression in human pancreatic cancer cells.	Am J Pathol	172	926-939	2008
Ishida M, <u>Egawa S</u> , et al.	The PMAIP1 gene on Chromosome 18 is a candidate tumor suppressor gene in human pancreatic cancer.	Dig Dis Sci	53	2576-2582	2008
<u>Miyazaki M</u> , et al.	Extensive hilar bile duct resection using a transhepatic approach for patients with hepatic hilar bile duct diseases.	Am J Surg	196	125-129	2008
<u>Miyazaki M</u> , et al.	Risk factors for biliary tract and ampullary carcinomas and prophylactic surgery for these factors.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	15-24	2008
Nomura S, <u>Miyazaki M</u> , et al.	FGF10/FGF2 signal induces cell migration and invasion in pancreatic cancer.	Brit J Cancer	99	305-313	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Takano S, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Annexin II overexpression predicts rapid recurrence after surgery in pancreatic cancer patients undergoing gemcitabine-adjuvant chemotherapy.	Ann Surg oncol	15	3157-3168	2008
Takano S, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Apolipoprotein C-1 maintains cell survival by preventing from apoptosis in pancreatic cancer cells.	Oncogene	27	2810-2822	2008
Yoshitomi H, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Specific expression of endoglin(CD105)in endothelial cells of intratumoral blood and lymphatic vessels in pancreatic cancer.	Pancreas	37	275-281	2008
Yoshitomi H, <u>Miyazaki M</u> , et al.	A randomized phase II trial of adjuvant chemotherapy with urcil/tegafur and gemcitabine versus gemcitabine alone in patients with resected pancreatic cancer.	Cancer	113	2448-2456	2008
Kuramochi H, <u>Hatori T</u> ,et al.	High intratumoral dihydropyrimidine dehydrogenase mRNA levels in pancreatic cancer associated with a high rate of response to S-1.	Cancer Chemother Pharmacol	63	85-89	2008
<u>Saijura A</u> , et al.	Intrahepatic cholangiocarcinoma: analysis of 44 consecutive resected cases including 5 cases with repeat resections.(in press)	Am J Surg			
Abe N, <u>Sugiyama M</u> , Suzuki Y, Yamaguchi T, Mori T, Atomi Y.	Preoperative endoscopic pancreatic stenting: a novel prophylactic measure against pancreatic fistula after distal pancreatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	373-376	2008
Abe N, <u>Sugiyama M</u> , et al.	Falciform ligament in pancreatoduodenectomy for protection of skeletonized and divided vessels.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	2	2009
<u>Sugiyama M</u> , et al.	Modified liver hanging maneuver with extraparenchymal isolation of the middle hepatic vein in left hepatectomy.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	16	2	2009
<u>Sugiyama M</u> , et al.	Pancreatic duct holder for facilitating duct-to-mucosa pancreatojejunostomy after pancreatoduodenectomy.	Am J Surg	197	18-20	2009
Nomoto S, <u>Nakao A</u> , et al.	Adverse prognosis of epigenetic inactivation in RUNX3 gene at 1p36 in human pancreatic cancer.	Br J Cancer	98	1690-1695	2008
Watanabe I, <u>Nakao A</u> , et al.	Effects of tumor selective replication-competent herpes viruses in combination with gemcitabine on pancreatic cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	61	875-882	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Yamada S, <u>Nakao A</u> , et al.	Pancreatic cancer with paraaortic lymph node metastasis: a contraindication for radical surgery?	Pancreas	38	13-17	2009
<u>Doi, R.</u> , et al.	A new technique for intraoperative continuous biliary drainage during pancreatoduodenectomy.	Digestive Surgery	25	179-184	2008
Nagai, K <u>Doi, R.</u> , et al.	Prognostic value of metastin expression in human pancreatic cancer.	J Exp Clin Cancer Res	28	9	2009
Neoptolemos, J, <u>Doi, R.</u> , et al.	Adjuvant 5-fluorouracil and folinic acid vs observation for pancreatic cancer: composite data from the ESPAC-1 and -3(v1) trials.	Br J Cancer	100	246-250	2009
<u>Doi, R.</u> , et al.	Surgery versus radiochemotherapy for resectable locally invasive pancreatic cancer: final results of a randomized multi-institutional trial.	Surg Today	38	1021-1028	2008
Katagiri, F., <u>Doi, R.</u> , et al.	Clinical significance of plasma metastin level in pancreatic cancer patients.	Oncol Rep	21	815-819	2009
Seo, S., <u>Doi, R.</u> , et al.	Contribution of 18F-fluorodeoxyglucose positron emission tomography to the diagnosis of early pancreatic carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	634-639	2008
Toyoda, E., <u>Doi, R.</u> , et al.	Midkine promoter-based conditionally replicative adenovirus therapy for midkine-expressing human pancreatic cancer.	J Exp Clin Cancer Res	27	30	2008
Toyoda, E., <u>Doi, R.</u> , et al.	Adenovirus vectors with chimeric type 5 and type 35 fiber proteins exhibit enhanced transfection of human pancreatic cancer cells.	Int J Oncol	33	1141-1147	2008
Yamauchi, J., <u>Doi, R.</u> , et al.	Clinical outcome of gemcitabine/S-1 combination therapy for advanced pancreatic cancer.	Pancreas	36	327-328	2008
Miyake K, <u>Shimada M</u> , et al.	Expression of hypoxia-inducible factor-1alpha, histone deacetylase 1, and metastasis-associated protein 1 in pancreatic carcinoma: correlation with poor prognosis with possible regulation.	Pancreas.	36	1-9	2008
Egami T, <u>Tanaka M</u> , et al.	Radiation enhances adenoviral gene therapy in pancreatic cancer via activation of cytomegalovirus promoter and increased adenovirus uptake.	Clinical Cancer Research	14	1859-1567	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Ohhashi S, <u>Tanaka M</u> , et al.	Midkine mRNA Is Overexpressed in Pancreatic Cancer.	Dig Dis Sci.	21		2008
Ohhashi S, <u>Tanaka M</u> , et al.	Down-regulation of deoxycytidine kinase enhances acquired resistance to gemcitabine in pancreatic cancer.	Anticancer Research	28	2205-2212	2008
Yu J, <u>Tanaka M</u> , et al.	LIM only 4 is overexpressed in late stage pancreas cancer.	Mol Cancer	2008	93-102	2008
Suyama K, <u>Baba H</u> , et al.	C/EBP homologous protein is crucial for the acceleration of experimental pancreatitis.	BBRC	367	176-182	2008
Takamori H, <u>Baba H</u> , et al.	Long -term Outcomes of extended radical resection combined with intraoperative radiation therapy for pancreatic adenocarcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	15	603-607	2008
Hashimoto D, <u>Baba H</u> , et al.	Involvement of autophagy in trypsinogen activation within the pancreatic acinar cells.	J Cell Biol	181	1065-1072	2008
Hirota M, <u>Baba H</u> , et al.	Percutaneous trans fistulous pancreatic duct drainage and interventional pancreatojejunostomy as a treatment option for intractable pancreatic fistula.	Am J Surg	196	280-284	2008
Koga Y, <u>Baba H</u> , et al.	ORP5 (oxysterol-binding protein-related protein-5) is related to invasion and poor prognosis in pancreatic cancer.	Cancer Sci	99	2387-2394	2008
Yoshida T, <u>Baba H</u> , et al.	Expression patterns of Epiplakin 1 in pancreas, pancreatic cancer and regenerating pancreas.	Genes to Cells	13	667-678	2008
<u>Chijiwa, K.</u> , et al.	Prospective Randomized Controlled Study of Gastric Emptying Assessed by 13C-Acetate Breath Test After Pylorus-Preserving Pancreaticoduodenectomy. Comparison between Antecolic and Vertical Retrocolic Duodenojejunostomy.	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery	16	49-55	2009
<u>Matsuyama Y</u> and Yamaguchi T.	Estimation of the marginal survival time in the presence of dependent competing risks using inverse probability of censoring weighted (IPCW) methods.	Pharmaceutical Statistics	7	202-214	2008

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Tanaka Y, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Estimation of treatment effect adjusting for treatment changes using the intensity score method: an application to a large primary prevention study for coronary events (MEGA study).	Statistics in Medicine	27	1718-1733	2008
Uemura K, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	A modified conditional power approach for increasing the sample size based on an interim estimate of treatment difference.	Japanese Journal of Biometrics	29	19-34	2008
Yoshida S, <u>Matsuyama Y</u> ,et al.	A Poisson mixed effects model for investigating the exposure-by-cohort interaction: A Gibbs sampling approach.	Japanese Journal of Biometrics	29	61-74	2008
Matsubara, J., <u>Ueno, H.</u> ,et al.	Ultrasound-guided percutaneous pancreatic tumor biopsy in pancreatic cancer: a comparison with metastatic liver tumor biopsy, including sensitivity, specificity, and complications.	J Gastroenterol,	43	225-232	2008
Tanaka, T., <u>Ueno, H.</u> ,et al.	Prognostic factors in Japanese patients with advanced pancreatic cancer treated with single-agent gemcitabine as first-line therapy.	Jpn J Clin Oncol,	38	755-761	2008
<u>Ueno H</u> ., Kosuge T.	Adjuvant treatments for resectable pancreatic cancer.	J Hepatobiliary Pancreat Surg.	15	468-472	2008
Morizane, C., <u>Ueno, H.</u> ,et al.	A phase II study of S-1 on gemcitabine-refractory metastatic pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol,	63	313-319	2009
Takezako, Y., <u>Ueno,H.</u> ,et al.	Phase II study of cisplatin, epirubicin and continuous infusion of 5-fluorouracil in patients with advanced intrahepatic cholangiocellular carcinoma.	Hepato-Gastroenterol,	55	1380-1384	2008
Takahashi Y, <u>Kosuge T</u> ,et al.	Prognostic value of tumor architecture,tumor - associated vascular characteristics,and expression of angiogenic molecules in pancreatic endocrine tumors.	Clin Cancer Res	13	187-196	2007
Sakamoto Y, <u>Kosuge T</u> ,et al.	Wrapping the stump of the gastroduodenal artery using the falciform ligament during pancreaticoduodenectomy.	J Am Coll Surg	204	334-336	2007
Ishibashi Y, <u>Kosuge T</u> ,et al.	Invasive biliary cystic tumor without ovarian-like stroma.	Pathology International	57	794-798	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Shimada K, <u>Kosuge T</u> , et al.	Clinical impact of the surgical margin status in hepatectomy for solitary Mass-Forming type intrahepatic cholangiocarcinoma without lymph node metastases.	Journal of Surgical Oncology	96	160-165	2007
Sano T, <u>Kosuge T</u> , et al.	Changing trends in surgical outcomes after major hepatobiliary resection for hilar cholangiocarcinoma: a single center experience over 25 years.	J Hepatobiliary Pancreat surg	14	455-462	2007
Panayiotis Loukopoulos, <u>Kosuge T</u> , et al.	Genome-wide array-based comparative genomic hybridization analysis of pancreatic adenocarcinoma: Identification of genetic indicators that predict patient outcome.	Cancer Science	98	392-400	2007
Shimada K, <u>Kosuge T</u> , et al.	Surgical outcomes of the mass-forming plus periductal infiltrating types of intrahepatic cholangiocarcinoma: a comparative study with the typical mass-forming type of intrahepatic cholangiocarcinoma.	World J Surg	31	2016-2022	2007
Tsuyoshi Sano, <u>Kosuge T</u> , et al.	Prognosis of perihilar cholangiocarcinoma: hilar bile duct cancer versus intrahepatic cholangiocarcinoma involving the hepatic hilus.	Ann Surg Oncol.	15	590-599	2008
Nara S, <u>Kosuge T</u> , et al.	Minimally invasive intraductal papillary-mucinous carcinoma of the pancreas: clinicopathologic study of 104 intraductal papillary-mucinous neoplasms.	Am J Surg Pathol.	32	243-255	2008
Yoshikawa D, <u>Kosuge T</u> , et al.	Clinicopathological and prognostic significance of EGFR, VEGF, and HER2 expression in cholangiocarcinoma.	Br J Cancer.	98	418-425	2008
Hirata K <u>Egawa S</u> , et al.	Current status of surgery for pancreatic cancer.	Dig Surg	24	137-147	2007
Kitagami H, <u>Egawa S</u> , et al.	Acinar cell carcinoma of the pancreas. Clinical analysis of 115 patients from pancreatic cancer registry of Japan Pancreas Society.	Pancreas	35	42-46	2007
Matsuno S <u>Egawa S</u> , et al.	R0 resection for ductal pancreatic cancer ? Japanese experience.	Am J Surg	194	110-114	2007
Ishida M, <u>Egawa S</u> , et al.	Elucidation of the relationship of BNIP3 expression to gemcitabine chemosensitivity and prognosis.	World J Gastroenterol	13	4593-4597	2007



研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Ishida M, Egawa S, et al.	Intraductal papillary-mucinous adenocarcinoma in the remnant pancreas after pancreatoduodenectomy for cancer of Vater's papilla associated with intraductal papillary-mucinous adenoma.	Journal of hepato-biliary-pancreatic surgery	14	522-525	2007
Ishida M, Egawa S, et al.	Characteristic clinicopathological features of the types of intraductal papillary-mucinous neoplasms of the pancreas.	Pancreas	35	348-352	2007
Wu Y Yamamoto J, et al.	Locally advanced intrahepatic cholangiocarcinoma successfully resected after transcatheter arterial chemoembolization with degradable starch microspheres: report of a case.	Hepatogastroenterology.	54	1345-1347	2007
Hijioka S Yamamoto J, et al.	CT and MRI findings with contrast enhancement of small pancreatic adenocarcinoma in the late phase.	Hepatogastroenterology.	54	389-392	2007
Watanabe I, Nakao A, et al.	Effects of tumor selective replication-competent herpes viruses in combination with gemcitabine on pancreatic cancer.	Cancer Chemotherapy and Pharmacology	61	875-882	2008
Fujii T, Nakao A, et al.	Analysis of clinicopathological features and predictors of malignancy in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Hepatogastroenterology	54	272-277	2007
Yamada S, Nakao A, et al.	Clinical implications of peritoneal cytology in potentially resectable pancreatic-cancer positive peritoneal cytology may not confer an adverse prognosis.	Annals of Surgery	246	254-258	2007
Nakao A, et al.	Pancreatic head resection with segmental duodenectomy safety and long-term results.	Annals of Surgery	246	923-928	2007
Yamada S, Nakao A, et al.	A proposal of an appropriate surgical approach for cancer of the ampulla of vater: retrospective analysis of 73 resected cases.	Hepatogastroenterology	54	10-14	2007
Nakao A, Takeda S, et al.	Clinical experiment of mutant herpes simplex virus HF10 therapy for cancer.	Current Cancer Drug Targets	7	169-174	2007
Doi R, et al.	Prognostic implication of para-aortic lymph node metastasis in resectable pancreatic cancer.	World J Surg.	31	147-154	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Lyshchik, A <u>Doi, R., et al.</u>	Expression of glucose transporter-1, hexokinase-II, proliferating cell nuclear antigen and survival of patients with pancreatic cancer. Cancer Invest.	Cancer Invest.	25	154-162	2007
Mori, T <u>Doi, R., et al.</u>	Effect of the XIAP inhibitor embelin on TRAIL-induced apoptosis of pancreatic cancer cells.	J Surg Res	142	281-286	2007
Nagai, K <u>Doi, R., et al.</u>	Intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas: Clinicopathological characteristics and long-term follow-up after resection.	World J Surg	32	271-278	2008
Nakahira S, <u>Monden M, et al.</u>	Involvement of ribonucleotide reductase M1 subunit overexpression in gemcitabine resistance of human pancreatic cancer.	Int J Cancer	120	1355-1363	2007
Tsujie M., <u>Monden M, et al.</u>	Human equilibrative nucleoside transporter 1, as a predictor of 5-fluorouracil resistance in human pancreatic cancer.	Anticancer Res.	27	2241-2249	2007
Miyake K, <u>Shimada M, et al.</u>	Combination therapy of human pancreatic cancer implanted in nude mice by oral fluoropyrimidine anticancer agent(S-1)with interferon-alpha.	Cancer Chemother Pharmacol.	59	113-126	2007
Miyake K, <u>Shimada M, et al.</u>	Role of thymidine phosphorylase and orotate phosphoribosyltransferase mRNA expression and its ratio to dihydropyrimidine dehydrogenase in the prognosis and clinicopathological features of patients with pancreatic cancer.	Int J Clin Oncol	12	111-119	2007
Ohuchida J, <u>Tanaka M, et al.</u>	Pylorus-preserving pancreatoduodenectomy: preoperative pancreatic function and outcome.	Pancreas	54	913-916	2007
Yamaguchi H, <u>Tanaka M, et al.</u>	Fascin overexpression in intraductal papillary mucinous neoplasms (adenomas, borderline neoplasms, and carcinomas) of the pancreas, correlated with increased histological grade.	Mod Pathol	20	552-561	2007
Ohuchida K, <u>Tanaka M, et al.</u>	S100A6 is increased in a stepwise manner during pancreatic carcinogenesis: clinical value of expression analysis in 98 pancreatic juice samples.	Cancer Epidemiol Biomarkers Prev.	16	649-654	2007
Yamada D, <u>Tanaka M, et al.</u>	Increased expression of ADAM 9 and ADAM 15 mRNA in pancreatic cancer.	Anticancer Res	27	793-799	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Miyasaka Y, <u>Tanaka M</u> , et al.	The role of the DNA damage checkpoint pathway in intraductal papillary mucinous neoplasms of the pancreas.	Clin Cancer Res.	13	4371-4377	2007
Nakamura M, <u>Tanaka M</u> , et al.	Anti-patched-1 antibodies suppress hedgehog signaling pathway and pancreatic cancer proliferation.	Anticancer Res.	27	3743-3748	2007
Hirota M <u>Baba H</u> , et al.	Local pancreatic resection with preoperative endoscopic transpapillary stenting.	Am J Surg	194	308-310	2007
Kamohara H <u>Baba H</u> , et al.	Induction of interleukin-8(CXCL-8) by tumor necrosis factor- $\alpha$ and leukemia inhibitory factor in pancreas carcinoma cells; Impact of CXCL-8 as an autocrine growth factor.	Int J Oncol	31	627-632	2007
Minagawa M, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Simplified staging system for predicting the prognosis of patients with resectable liver metastasis: development and validation.	Arch Surg.	142	269-276	2007
Ikai I, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Report of the 17th nationwide follow-up survey of primary liver cancer in Japan.	Hepatology Research	37	676-691	2007
Minagawa M, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Staging of hepatocellular carcinoma: Assessment of the Japanese TNM and AJCC/UICC TNM systems in a cohort of 13,772 patients in Japan.	Annals of Surgery	245	909-922	2007
Makuuchi M, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Development of evidence-based clinical guidelines for the diagnosis and treatment of hepatocellular carcinoma in Japan.	Hepatology Research	38	37-51	2008
Yoshida M, <u>Matsuyama Y</u> , et al.	Estimation of treatment effect adjusting for dependent censoring using the IPCW method: an application to a large primary prevention study for coronary events (MEGA study).	Clinical Trials	4	318-328	2007
<u>Ueno H</u> , et al	A phase II study of weekly irinotecan as first-line therapy for patients with metastatic pancreatic cancer.	Cancer Chemother Pharmacol	59	447-454	2007
<u>Ueno H</u> , et al	Phase II study of combination chemotherapy with gemcitabine and cisplatin for patients with metastatic pancreatic cancer.	Jpn J Clin Oncol.	37	515-520	2007
<u>Ueno H</u> , et al.	Pharmacogenomics of gemcitabine: Can genetic studies lead to tailor-made therapy?	Br J Cancer (minireview)	97	145-151	2007

研究成果の刊行に関する一覧表

発表者名	論文タイトル	発表雑誌名	巻	頁	年
Yonemori K , <u>Ueno H</u> , et al	FP therapy for controlling malignant ascites in advanced pancreatic cancer patients.	Hepatogastroenterology.	54	2383-2386	2007
Ikeda M, <u>Ueno H</u> ,et al.	A phase I and pharmacokinetic study of NK105, a paclitaxel-incorporating micellar nanoparticle formulation.	Br J Cancer.	97	170-176	2007
Ikeda M, <u>Ueno H</u> , et al	A phase I trial of S-1 with concurrent radiotherapy for locally advanced pancreatic cancer.	Br J Cancer.	96	1650-1655	2007
Abe N, <u>Sugiyama M</u> , et al.	Wrapping of skeletonized and divided vessels using the falciform ligament in distal pancreatectomy.	Am J Surg	194	94-97	2007
Oida Y, <u>Imaizumi T</u> , et al.	FDG-PET and diffusion-weighted MR imaging appearance in retroperitoneal Castleman's disease: a case report.	Clin Imaging	32	144-146	2008
<u>Miyazaki M</u> , et al.	Combined vascular resection in operative resection for hilar cholangiocarcinoma:Does it work or not?	Surgery	141	581-588	2007
Kobayashi S, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Rapamycin, a specific inhibitor of the mammalian target of rapamycin, suppresses lymphangiogenesis and lymphatic metastasis.	Cancer Sci	98	726-733	2007
Ishihara S, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Status of surgical treatment of biliary tract cancer.	Dig Surg	24	131-136	2007
Shimizu H, <u>Miyazaki M</u> , et al.	Aggressive surgical approach for stageIV gallbladder carcinoma based on japanese society of biliary sugery classification.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	14	358-365	2007
<u>Miyazaki M</u> , et al.	Recent advance in the treatment of hilar cholangiocarcinoma:hepatectomy with vasculare resection.	J Hepatobiliary Pancreat Surg	14	463-468	2007
Shimizu Y, <u>Miyazaki M</u> , et al.	CCAT/enhancer binding protein- $\beta$ promotes the survival of intravascular rat pancreatic tumor cells via antiapoptotic effects.	Cancer Sci	98	1706-1713	2007
Ohuchida, J., <u>Chijiwa, K.</u> , et al.	Pylorus-preserving Pancreatoduodenectomy : Preoperative Pancreatic Function and Outcome.	Hepato-Gastroenterology	54	913-916	2007